東京学派シンポジウム

東京学派と日本古典

源氏物語をめぐって

2020年10月17日(土) 17:00～21:30

オンライン開催(Zoomを使用)

事前に下記URLか右のQRコードより登録をお願いいたします

https://zoom.us/meeting/register/tJwpc-6orD4oGNGvHY1LnGDFYHU-2uCZJCMn

トークセッション(17:00～18:40)

開会の辞:中島隆博

登壇者ご紹介:木村朗子

毬矢まりえ・森山恵　『源氏物語 A・ウェイリー版』訳者

「アーサー・ウェイリー訳『源氏物語』を語る

－世界はどのように源氏物語を読んだか」(聴き手:木村朗子)

発表と討論(19:00～21:30)

ポール・シャロウ　ラトガース大学

「世界文学としての源氏物語」

寺田澄江　フランス国立東洋言語文化大学

「源氏物語翻訳と研究」

藤井貞和　東京大学名誉教授

「膠着語的と生成論的」

総合討論　司会:中島隆博、コメンテーター:高木信

Language: Japanese / Contact : gjs@ioc.u-tokyo.ac.jp　**Open to Public**

主催:科研費基盤研究(B)「東京学派の研究」

共催:東京大学国際総合日本学ネットワーク(GJS)・東洋文化研究所(IASA)

Organizer: JSPS Research Project "The Tokyo School"

Co-organizer: Global Japan Studies Network (GJS); Institute for Advanced Studies on Asia (IASA)

科研費 KAKENHI

「東京学派の研究」